

コード 304012101

記入日 H21.6.5

課コード 112

課名 こども課

課長名 前田 喜代美

担当者 尾上 富幸

事務事業途中評価表

作成年度 平成 21 年度

評価対象事業名称	出生祝金支給事業費	事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度		

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政 策 名 称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施 策 名 称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040121	事務事業名称	出生祝金支給事業費	細目コード	254
関連計画	次世代育成支援行動計画	法令・条例規則等	新上五島町出生祝金支給条例		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか	対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新生児を出産した母	(対象指標1) 対象者 125人				
(対象2)	(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)				
*****	第1・2子 85人(1人 50,000円) 第3子以降 40人(1人100,000円)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
		***	***	***	***
		支給者数	125人	100%	支給者数÷申請者数 平成20年度
		(達成率分析)	対象者全員に支給を行った		
*****	新上五島町の次世代を担う児童の確保を図るため、出生を祝福して第1・2子に50,000円及び第3子以降に100,000円を支給する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
		***	***	***	***
		支給対象者数	125人	88%	対象者数125人÷前年度対象者数141人 平成20年度
		(達成率分析)	支給対象者数が16名減っている		
*****		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
		***	***	***	***
		支給対象者数	125人	88%	対象者数125人÷前年度対象者数141人 平成20年度
		(達成率分析)	(達成率分析)		
目的:何をしたいのか	成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
*****		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
		***	***	***	***
		支給対象者数	125人	88%	対象者数125人÷前年度対象者数141人 平成20年度
		(達成率分析)	(達成率分析)		

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

内訳	Cの財源内訳	単位	全体計画		平成19年度以前		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度以降	
			計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画									
活動指標		① 人	568	568	443	125	125											
		②																
成果指標		① 人	568	568	443	125	125											
		②																
総事業費C (A+B)		千円	39,000	39,000	30,050	8,950	8,950											
直接事業費 A		千円	36,200	36,200	27,950	8,250	8,250											
人件費 B		千円	2,800	2,800	2,100	700	700											
従事職員数	人件費単価	人	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1											
Cの財源内訳	国補助金	千円																
	県補助金	千円																
	起債	千円																
	その他の	千円																
	一般財源	千円	39,000	39,000	30,050	8,950	8,950											

コード 304012101

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要があるですか。	<input checked="" type="radio"/> ある ない	理由	少子化対策及び児童の健全な育成のため、必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行なう必要がありますか。	<input checked="" type="radio"/> ある ない	理由	少子化対策及び児童の健全な育成のため、必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	<input checked="" type="radio"/> 適切 不適切	理由	少子化対策及び児童の健全な育成のため、必要である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	<input checked="" type="radio"/> いる いない	理由	出生数の減を止める策としては弱いが、出生者が育児を始める負担の軽減となる。
	成果を向上させる余地はありますか。	<input checked="" type="radio"/> ある ない	理由	支給額の増が考えられる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	<input checked="" type="radio"/> ある ない	理由	本町の出生後の経済的不安の解消策が何もなくなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	<input checked="" type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない	理由	当町の現状では、考えられない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	<input checked="" type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない	理由	この支給額を当面は継続していく。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	<input checked="" type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない	理由	必要最低限の人件費であり、削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	<input checked="" type="radio"/> はい いいえ	理由	なし

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	少子化対策及び児童の健全な育成のため、必要である。
		有効性	出生数の減を止める策としては弱い。しかし、出生者が育児を始める負担の軽減となっている。
		効率性	この支給額を当面は継続して行く。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	本町の次代を担う子どもたちの出生を祝い、健全な育成を図るものである。
		効率性	祝金の支給においては、適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次 2次 3次			1次 2次 3次		
	<input checked="" type="radio"/>					類似事業と整理統合
						事業の休止
		<input checked="" type="radio"/>				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。